

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	和合こども園ふーろ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日 ~ 令和8年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数) 35人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日 ~ 令和8年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 26日 ~ 令和8年 2月 14日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	27件	(回答数) 17件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	開所当初から関係機関の連携に注力している。	支援の開始時にその意義や目標の相互共有から方向性ある程度定まり、支援の内容も一貫化できる。	定期的な訪問から支援内容のアップデートもタイムリーに共有できると良い。
2	関係機関と保護者と事業所と、3者の連携も大切にしている。	訪問に際しては先方の保育や教育指針などの理解に努めている。相互の信頼関係を軸とすることで、より有意義な成長に寄与したいと考えている。必要に応じて多様な子ども像についても見立て等に応じている。	ニーズに応じてではあるが、一箇面での事例検討会や研修開催からさらに子どもについての理解や支援に繋がればと思う。
3	訪問観察は端末を利用し状況把握に写真や動画も取り入れている。	観察記録の充実化において、動画の共有からは行動特徴の見立てがすすんだ。	アプリを通じての保護者との共有では、映像に加え、報告書も添付することで、よりタイムリーに子どもたちの様子の共有をすすめる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員のスキルアップ。	一児一対一支援事業所との多機能事業においては、事業所運営と並行して複数人の訪問支援ができる体制がとりづらい。	同行だけでなく所内研修などでのスキルアップを目指したい。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 和合こども園ふーろ

公表日 令和8年 2月 18日

利用児童数 35人 令和8年 2月 16日集計 回収数 35/35枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	23	2	0	10	何が必要かわからない	訪問に関しての備品としては、タブレット端末、必要に応じて支援計画書やモニタリングとなります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	30	2	1	2	活動の部屋の中で実施したので、他児が寄ってきて集中できなかった	面談の際に騒がしい状況となってしまう申し訳ございません。今後はそのような状況で対外的に大丈夫であれば事務室等への移動で対応させていただきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	35	0	0	0	説明を受けた	重要事項の説明時と説明会において実施させてもらっております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	32	2	0	1	幼稚園や施設など職員からの声掛けで相談できて安心。学校での様子や学校と事業所の両方から聞けて良かった※適切な時期である	ニーズを伺いながら訪問を決定しておりますが、こちらが忙しそうな見えてない等以前のご意見にありましたので遠慮なくおっしゃっていただければと思います。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	33	2	0	0	そう思う	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	0	0	0	独自の方法で考えられたプログラムだと思う。※園での様子や専門的な目で見えたアセスメント結果の報告を受けている	ふーろ系の訪問方法はありますがマニュアル化等はしてありません。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0	子供のことを理解したうえで作成されている	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	33	2	0	0	クラス担任との面談がまだなので分からない※自分の子だけでなく他児や園での保育環境も含めて、担任と相談の上で訪問している	基本的にご利用開始時に連絡を取り、方向性や訪問の意図・意図の確認はしております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	3	0	2	クラス担任との面談がまだなので分からない	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	0	そうしていると思う	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	32	1	0	2	そうしていると思う	先方との信頼関係が難しくなるので、相手の状況理解には努めております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	0	説明を受けた	重要事項の説明時と説明会において実施させてもらっております。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	1	説明を受けた児童があるが覚えていない	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	2	1	1	小学生向けはない※子供も楽しみにしている	親子グループにおいて実施していますが、対象は幼児（児童発達支援事業所利用）になっております。
保護者 への 説明 等	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	35	0	0	0	共通理解が出来ていると思う※アプリを通じて困ったことがあった時、すぐに連絡が来て相談できる※送迎の際に職員と話が出来る場を設けてくれるので、園りごと不安なことは都度解消される	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	0	0	0	必要な時に相談に乗ってくれる	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	0	0	そのように思う	
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2	0	0	対応してくれている	連絡ツールのアプリがある程度定着し、対応できている部分もあると思われますが、まだ充分ではありません。引き続きニーズをしっかりと拾えるよう、日ごろからコミュニケーションをとらせてもらいたいと思います。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	0	アプリの利用で出向がなくても情報伝達が出来ている	スムーズに連絡できるように努めます。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	34	0	0	1	園からの連絡を待っている状態です	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	33	1	0	1	園からも勉強になることが多かったと話があった。その後の活動についても相談する機会があった※予定を立ててくれている	訪問の際は観察とフィードバックを実施しております。必要に応じて訪問日から日を改めて再度伺い、じっくり話をすることもふくめる流ではあります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	33	2	0	0	とても精かく様子や課題を教えてもらった※書面を見せていただけた	ご利用の全員にしっかりとフィードバックが出来るように努めます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	1	0	2	いつも見えています	HUGアプリを活用し、日々の連絡とプログラムについての共有はすすんでいると考えます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	0	1	そう信じている	取り扱いには充分留意をしております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実施できるようにしていると思いますか。	31	1	0	3	訪問先施設と連絡が取れると行ってくれている	緊急時対応もマニュアル化しており、有事の際は実行いたします。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	0	0	0	そのように思う	
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	35	0	0	0	とても楽しみに登園している※とても嬉しいと言っている※嬉しそうにしている	
	28	事業所の支援に満足していますか。	35	0	0	0	園から聞いた話を解決策などを聞かえて話してもらえらるから課題が明確でわかりやすい※子供のことをよく見て伸ばしてくれていると思う	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					令和8年 2月 18日		
和合こども園ふぁーる		利用児童数					35人 令和8年 2月 16日集計 回収数：18/27枚		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	15	3	0	※対象児の過去資料をもとに説明あったため理解が深まった。※園での保育の方法も理解した上でのアドバイスに助けられている。※例を挙げて助言あり助かった※対象児のことをよく理解してしっかり説明いただけた	相手方の状況理解に努め、その中での子どもたちの様子をより冷静に丁寧に見立て、建設的な助言や提案が出来るように今後も努力していきたい。			
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	15	3	0	※大変参考になる。※ふぁーるに通った子供達は集団生活に馴染んで変化があり感謝。	ご意見に満足せず、これからもこちらの学びの機会として捉え、深めていきたい。			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	2	0	※大変満足の内容だった。※事例に合わせて具体的なアドバイスを頂けるので保育に活かせる。※担任の意見を聞き取り入れやすいことを提案してもらえた	先生方との信頼関係を前提に、互いに意見を交わしながら良い方向性を一緒に探していきたいと考える。			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	6	1	※保護者支援については情報共有や支援の方向性を共有できたが、解消軽減に向けては難しさがあつた。※第三者の目から見た率直な意見を聞ける関係機関との繋がりが心強い。※どの園児も成長が見られるので個々の差は有るが、困り感は減っている※困りごとは無かった※対象児の支援について見通しがもてて安心感につながる。※タイムリーな問題にも対応できた※対象児の食事面が解消された。	ご意見の通り、ケースによっては課題の難しさ深さもあり、スパンの短さなどからも解消や経験を実感できない状況もある。センター他機関の力も借りてスーパービジョンやスーパーバイズも受けながら課題に向かいたい。			
5	事業所からの支援に満足していますか。	13	4	1	※丁寧な対応に満足※大変満足・感謝です※連携の取り方など知識のない職員に対しても説明があつて感謝。※もっと定期的に訪問してもらえるとよかつた	ご意見に満足せず、これからも相互に建設的な関係性を持続できるように努力したい。定期的な訪問も実現させていきたい。			
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応				
※保護者が事業所に対して信頼ある事を感じる。今後の成長に伴い本人が壁にぶつかった時には相談したい。※事業所との面談で療育先での様子を知ることができて良かった。※子供達の様子・行動の見立てを分かりやすく教えて頂き良い学びの場となっている。集団に馴染めない子にどう接するか悩む保育者にも的確なアドバイスや認める言葉を掛けて下さり「明日からまた頑張ろう」と勇気をもらっています。※丁寧にみて頂き日々の保育の中でも参考になる事が多かった。※訪問の際に対象児の様子を見て育ちや課題について共有する事で理解が深まり、貴重な時間となっている。機会があれば、事業所での様子を見に行く事でより理解が深められると思う※保護者からの話と実際の様子が異なる事も知る機会となった。訪問の際の会議もあり良かった※対象児の特性などについて丁寧に話して下さり、対応方法も具体的に教えていただいたのですぐに対応できた。※前年度に比べ訪問回数、フィードバック等助言の機会が増えたので、連携も取れてきた。次年度は計画的に進めてほしい。保護者、園、事業所の三者で話し合いの場も持ちたい※事前に支援員との打ち合わせがあると保護者の前で伝えにくいことも伝えられる。※クラス運営のことも気にかけてアドバイスをいただけたことが参考になった。※訪問後、保護者報告をする際には訪問先に確認を取ってからにしてほしい。※適切なアドバイスがいただけて良かった※就学前の様子を教えていただいたり、周りの子と対象児がどのように関われると良いかを丁寧に教えていただいた。その為、関わり方を見直し児童との関係づくりが円滑に行えた					療育機関として、普段の生活とは違う環境を当たり前とせず、常に主の所属先やステージアップしていく先において安心し・安定して過ごせる姿を見据えた支援を行っていきたくと考えています。訪問事業においては、先方との信頼関係が軸になります。そして、保護者と3者においての連携が子どもたちの成長に大きく影響し非常に重要事項となります。相互に建設的に、一緒に成長できることを理想としてこれからも訪問事業を進めて参ります。また、行き届かなかった点についても、新年度を控え、連絡を取りながら、8年度の訪問についての検討に取り掛かります。ありがたい言葉もたくさん頂戴し、一瞬だけ喜びとして胸に響かせて、すぐに締めて、上述にもありますが私どもも学びの機会を与えて頂けることに感謝をして、準備させてもらいたいと思います。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		和合こども園ふぁーる		回収率： 100%		公表日		令和8年 2月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4						
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4						
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4						
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		外部評価は実施していない。当該事業所においては、主に療育プログラムや個別支援において、事例検討などでのスーパーバイズがある。訪問においての課題によっては必要性も考えられ、今後そのような状況における評価委託も念頭におきたい。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4						
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4						
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4						
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4						
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4						
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4						
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4						
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4						

関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2		自立支援協議会への参加は実施。地域の子育て支援ひろばとの交流機会(講座や運動遊びの実施)を地域交流の一環としている。
保護者等への説明等	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		父母会としては満足させておらず、親子グループとカフェでの交流が主な交流場面となっている。兄弟については納涼祭とクリスマス会での交流機会としている。事業所レベルでできる範囲での保護者支援となるが念頭に置いておきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通達等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			